

歴史講座

「江戸と品川の大木屋敷を探る」

期 間	平成 24 年 2 月 25 日～3 月 17 日（毎週土曜日）
時 間	午後 2 時～午後 4 時
会 場	講堂

〔事業目的〕

江戸の南の玄関口であった品川には、大名の下屋敷や抱屋敷を中心に多くの屋敷地が存在していた。当区においての大規模な大名屋敷の発掘調査は、平成 4 年（1992）の仙台坂遺跡（仙台藩伊達家大井下屋敷跡）以来行われていないが、少数ながらも発掘事例や文献調査により史料は蓄積されている。しかしその成果がこれまで区民に公開されることはほとんどなかった。そこで、文献・考古両分野の成果が相次ぐ江戸の大木屋敷との関わりの中で、品川の大木屋敷にもう一度スポットを当て、区民へ広く情報を発信する講座を実施する。

〔講座内容〕

第 1 回 2 月 25 日 受講者数 77 名

「大名屋敷と江戸」

講 師：岩淵 令治（国立歴史民俗博物館准教授）

第 2 回 3 月 3 日 受講者数 79 名

「御殿山に隣接する大名屋敷—松江藩・鳥取藩の大崎屋敷とその変遷—」

講 師：富川 武史（品川歴史館学芸員）

第 3 回 3 月 10 日 受講者数 81 名

「仙台坂を掘る—仙台藩伊達下屋敷跡の発掘—」

講 師：中野 光将（品川歴史館学芸員）

第 4 回 3 月 17 日 受講者数 73 名

「発掘調査からみる加賀藩本郷邸」

講 師：成瀬 晃司（東京大学埋蔵文化財調査室助教）